



バドミントン界のニューヒーロー!

島田航平(大谷高校2年)・大輝(芽室中3年)・きらら(同1年)の3兄妹がバドミントンで大活躍中。昨年7月以降十勝では負けなしの航平は、北北海道大会で団体戦準優勝・シングルス3位と活躍、大輝は、中体連シングルス全道優勝、ジュニアグランプリで全国準優勝し、4月からは昨年全国制覇した強豪埼玉栄高校に進学予定。きららは、中体連で団体・ダブルスで全道優勝、2月に行われた北海道大会では、兄大輝とともに中学生ながら、次々と高校生を撃破して兄妹優勝を果たす。

「大会終了後には、お互いのプレーをビデオチェックして指摘します。普段の会話の中でもバドミントンの話題は自然と出てきますね」と3人は笑顔で話します。お互いのことをどう思っているか聞くと「自分の過去よりいい成績を残していて、尊敬できる部分がある。一緒に練習もできるいい仲間」(航平)、「兄は常に身近にいた目標になる人。きららは、中1なのに高校生を倒して優勝した、すごい選手!」(大輝)、「小さい時から練習の相手をしてくれた。2人の兄がいたから今がある」(きらら)と、お互いを信頼・尊敬する素敵な兄妹像が見えます。スポーツの魅力は「練習した分だけ、結果につながる」と声を揃える。

「大学進学後、教師になりバドミントンも指導したい」(航平)、「バドミントンで実業団入りしたい」(大輝)、「動物が好きなので獣医に興味がある」(きらら)と、それぞれ将来の夢も語ってくれました。
(敬称略)

今年1年もこの3人の活躍から目が離せないー。



“管内無敵の島田3兄妹”

左から、航平さん、きららさん、大輝さん
温かな表情はコートに入ると鋭い表情に一変する。

アフタヌーン ティー

広報編集室から



▶雪解けが進み、水温むこの季節は出会いと別れ、喜びと寂さが交錯する季節でもあります。これまで慣れ親しんだ生活からの旅立ちには不安がつきまとうものですが、ひとまわり大きな自分へと成長するために欠かせない過程かもしれません。今までの自分を「卒業」する全ての方々が、より大きな希望に向かって羽ばたけるよう応援したいと思います。

(H)

▶4月から小さいサイズ(7.5㍓)の「燃やせるごみ袋」が販売されます。各地域で開催したごみ懇談会内で、町民の皆さんのご意見を伺い、また、ホットボイスでいただいた提案が“カタチ”になった事例だと思います。

町民の皆さんの声をまちの仕事に反映することが、身近な問題で実現しました。今後とも、どしどしご意見・ご提案をお寄せください。

(K)

▶3月に入り、各地でプロ野球のオープン戦が行われる季節になりました。

今年も話題のルーキーの活躍が注目を浴びています。その中から競争に勝ち残り、どれだけの選手が1軍で活躍できるか楽しみです。

6か月の長いペナントレースで最後に優勝するのはどのチームか。まもなくシーズン開幕ですね!

(N)

人の動き

人口 19,285人 (+21)
女性 10,045人 (+4)

世帯数 7,260戸 (+13)
男性 9,240人 (+17)

平成20年2月29日現在 / () 書きは前月比